

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場第一部)
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告いたします。)

【株式のお手続きに関するお知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

1	優待内容	株主の皆様からのご支援に対し、感謝の気持ちを込めまして、年1回、「おこめギフト券」を株主優待として贈呈いたします。
	優待の基準	株式保有数 100株以上=3枚
2	対象株主	毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主の方を対象といたします。
3	贈呈期間	毎年11月下旬に発送を予定しております。



IRメール配信サービスを実施しています！

社長からのメッセージを株主の皆様にお届けします。

ご希望の方は当社の投資家情報ウェブサイト内の「IRメール配信サービス」よりご登録をお願いします。

<http://www.sra-hd.co.jp/ir/info/mail-service/>

メール配信サービスをご希望の方は上記アドレスよりご登録ください

ご登録いただきました情報は、当社からのIRメール配信サービスの目的にのみ利用させていただき、当社の厳重な管理の下で保管させていただきます。個人情報に関するお問い合わせは下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ

株式会社SRAホールディングス 管理本部 IR担当 TEL 03-5275-4311

 株式会社 **SRAホールディングス**

<http://www.sra-hd.co.jp/>

本社オフィス：〒102-8578 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート28F TEL:03-5275-4311

2012年3月期
第2四半期 株主通信
2011年4月1日～2011年9月30日



株式会社SRAホールディングス

株主の皆様へ

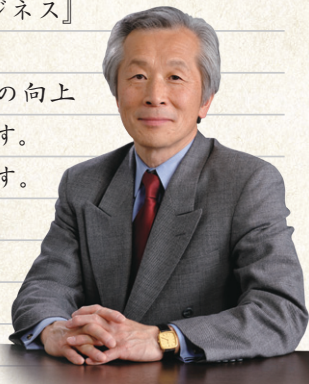
皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
 情報サービス業界におきましては、企業のIT投資には依然として慎重な姿勢が見られ、引き続き
 厳しい事業環境が続いています。

当社の第2四半期の業績においては、売上高は販売事業が増加したものの、開発事業と運用・構築
 事業が減少した結果、2.5%の微減となりました。しかし、売上総利益は、売上減の影響を粗利益率の
 向上によりカバーした結果、ほぼ横ばいとなり、営業利益、経常利益、四半期純利益は、販管費の
 効率化等によりいずれも増益となりました。SRAグループでは、中期経営計画の経営戦略である『既存
 事業の構造改革』と、中長期の成長に向けた『自社IP製品ビジネス』、『海外ビジネス』
 への取り組みを推進しており、計画は着実に進捗しております。

なお、創業者で大株主でもある丸森会長が今夏、逝去しましたが、株主価値の向上
 を図るため、創業以来の「独立系」という立場を引き続き堅持していく方針です。
 2012年3月期の配当につきましては、1株につき40円の維持を計画しています。
 皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

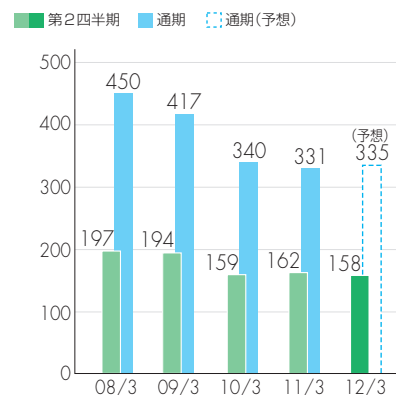
2011年11月

株式会社SRAホールディングス
 代表取締役社長 鹿島 亨

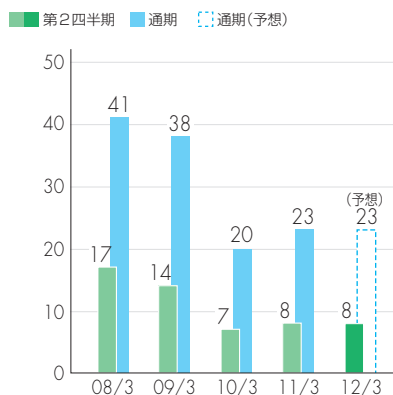


■ 連結財務ハイライト

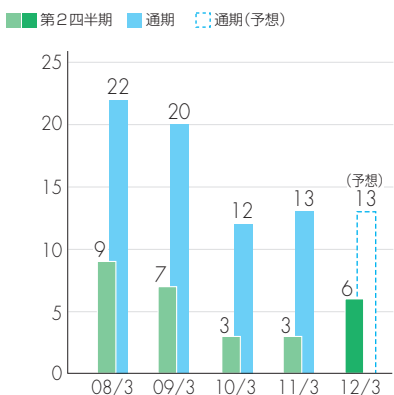
売上高 (単位: 億円)



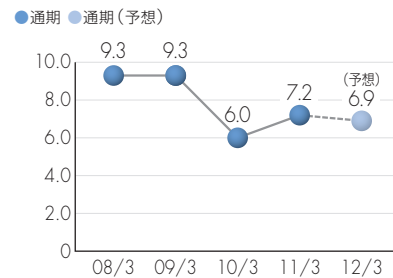
経常利益 (単位: 億円)



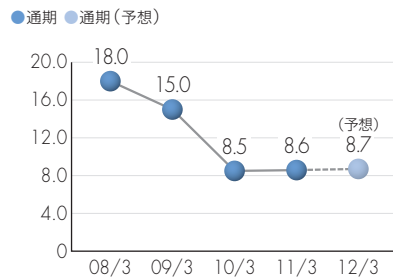
四半期(当期)純利益 (単位: 億円)



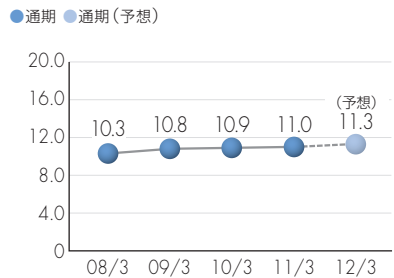
売上高経常利益率 (単位: %)



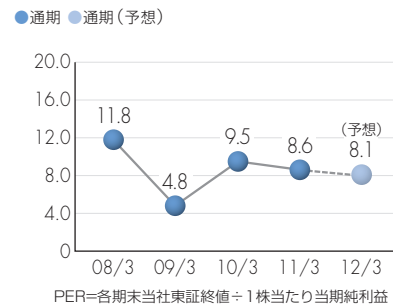
自己資本当期純利益率(ROE) (単位: %)



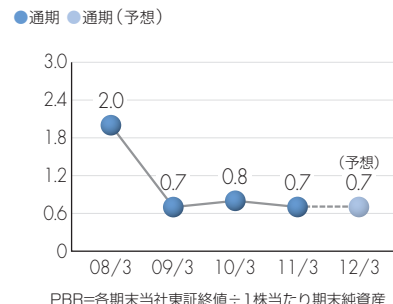
販管費比率 (単位: %)



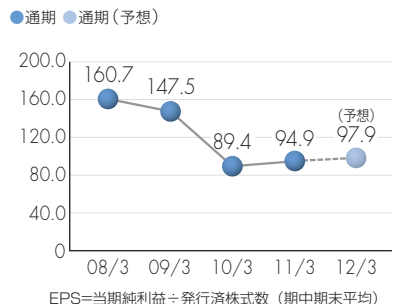
PER (株価収益率) (単位: 倍)



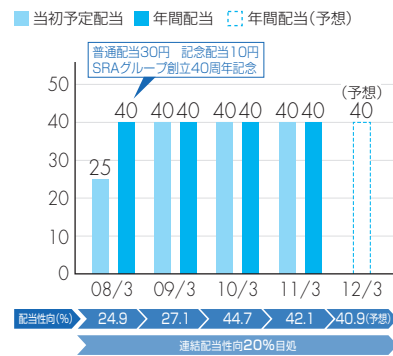
PBR (株価純資産倍率) (単位: 倍)



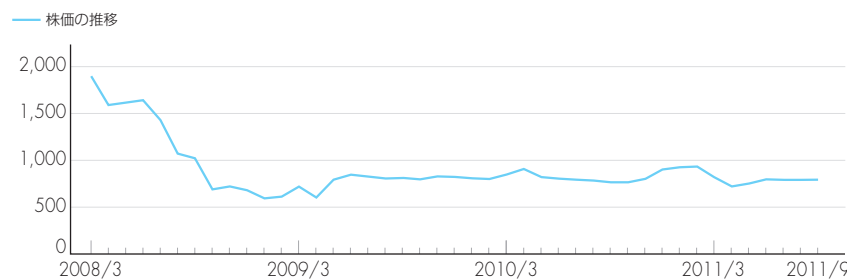
EPS (1株当たり当期純利益) (単位: 円)



1株当たり配当金 (単位: 円)



株価チャート (単位: 円)



(注)1. 2012年3月期予想は、2011年5月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内
 在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高および利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。
 (注)2. 2012年3月期のPER、PBRの算出に係る株価は2011年9月期の末日の終値を使用し、収益等は2012年3月期の予想値を使用しております。

SRAグループの事業

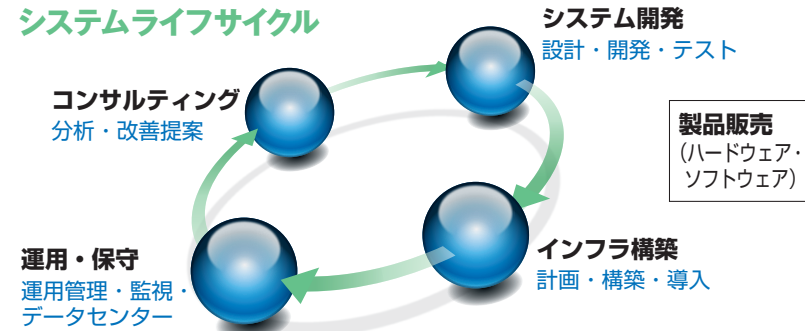
どこのメーカー／ユーザーにも属さない「独立系」だから・・・
お客様にとって最適な選択肢を提供できる！

SRAグループのソフトウェア業界における位置づけ

「独立系」のメリットを活かし、ハードウェアでもソフトウェアでも、特定のメーカーやユーザーに偏ることなく、**中立な立場で真に最適な選択肢を提供**することができます。これは、お客様にとっての最大のメリットであり、私たちSRAグループの存在意義でもありと考えています。

事業セグメント

コンサルティングからシステム開発、インフラ構築、運用・保守に至るITライフサイクル全般について、高い技術力と業務ノウハウによりお客様のニーズを的確に反映するとともに、ソフトウェア工学に基づく高品質のサービスを提供しています。



開発事業

SRAの強みである技術先進性と豊富な業務知識を活かして、銀行、証券をはじめとする各業界の企業向け情報システム開発や、家電製品のシステム中枢部分の開発である「組込開発」を行っています。

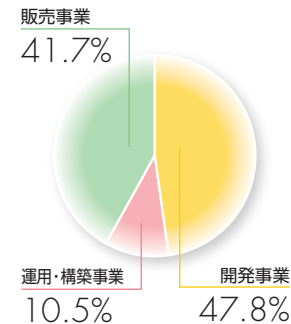
運用・構築事業

全国の有名大学を中心に校内ネットワークシステム（導入実績50校）や、強固かつ安定稼働が求められる大企業や中堅企業のネットワークシステムの構築・運用を行っています。

販売事業

IBMの先進的サーバー製品をはじめとする優れたハードウェア製品、自社IP製品（知的財産権を有する自社ブランド製品）など、国内・海外の先進技術を駆使したソフトウェア製品を販売しています。

売上高構成比



SRAグループのビジネスフィールド

■ 家庭

- 家電製品（ブルーレイレコーダ、3Dテレビ）のシステム中枢部分
- 高性能ゲーム機器
- スマートフォン、タブレット
- ホームセキュリティ
- 複合機



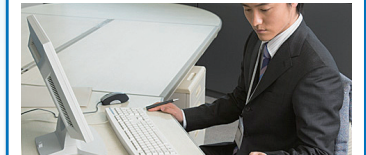
■ 大学

- 自社開発の総合大学事務ソリューション“UniVision”
 - ・ 入試・教務・学籍管理他
 - ・ 学生ポートフォリオ
 - ・ 教職履修カルテ
- “キャンパスネット”で、校内の教員、学生、職員をつなぐネットワークを構築・運用



■ 企業オフィス

- 証券会社のオンライントレードシステム
- 銀行・生損保の業務システム
- 電力の業務システム
- 製造業の生産管理システム
- ネットワーク構築・運用
- UNIXサーバー製品



SRAグループの3つの強み

技術先進性

創業以来、「技術のSRA」として定評があります。最近では、オープンソースソフトウェア、SaaSにおいても技術優位性を確立するとともに、先進技術を活かした新しいビジネスの創出、新規事業の立ち上げにも取り組み、着実にその成果をあげています。また、品質および生産性の向上にも先進技術を活用しています。

オープンソースソフトウェア (OSS)

ソフトウェアの設計図ともいえる「ソースコード」が公開され、誰でも自由に利用可能なソフトウェア。ただし、ソースコードを解読し、活用できる技術者は限られます。SRAはOSSを、システム開発・自社製品開発に活用しています。

インタラクションデザイン

人間と機械のやりとりに注目して、システム開発の効率性を上げ、使い易い製品を創り出す手法。システム開発での効率性を上げ、操作性の高いシステムの構築に活用しています。

当社ホームページのご案内

これまでの株主通信では、先進技術を分かりやすく解説してきました。こちらでご覧いただけます。http://www.sra-hd.co.jp/company/key_tech.shtml



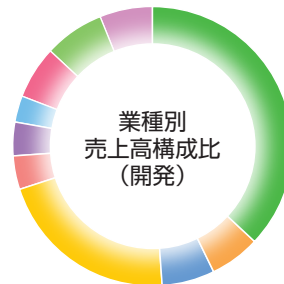
グローバル・リーチ

(P6 参照)

米国、欧州をはじめとする海外拠点の実績・ノウハウとグローバル・リーチを活かし、海外ビジネスを推進している日系企業・現地企業のお客様はもとより、これから、海外市場に進出されるお客様に対しても国際競争力に直結するサービスを提供しています。IT技術の進展と先々のニーズをいち早く捉え、サービス拡充を図っていきます。

優良顧客基盤

金融、製造等の各業界のリーディングカンパニーをはじめとする大企業、中堅企業をお客様とし、継続的・安定的なビジネスを展開しています。また、IT技術を駆使している新規のお客様に対しても、ビジネスを拡大しています。



製造業	37%	流通	4%
通信	6%	大学等	3%
電力・ガス	6%	ハードメーカー (Sier)	6%
銀行・証券	21%	情報サービス	7%
生損保	4%	サービス他	6%

グローバル・リーチ

SRAグループは国内・海外のネットワークを活用しグループ・シナジーのさらなる強化を図ります。

(株)SRA東北

- (株)SRAホールディングス
- (株)SRA
 - 先端技術研究所
- (株)ソフトウェア・サイエンス
- (株)AIT
- (株)SRAプロフェッショナルサービス
- (株)クレディスト
- SRA OSS, Inc./日本支社

(株)SRA/中部事業所

(株)SRA/関西事業所

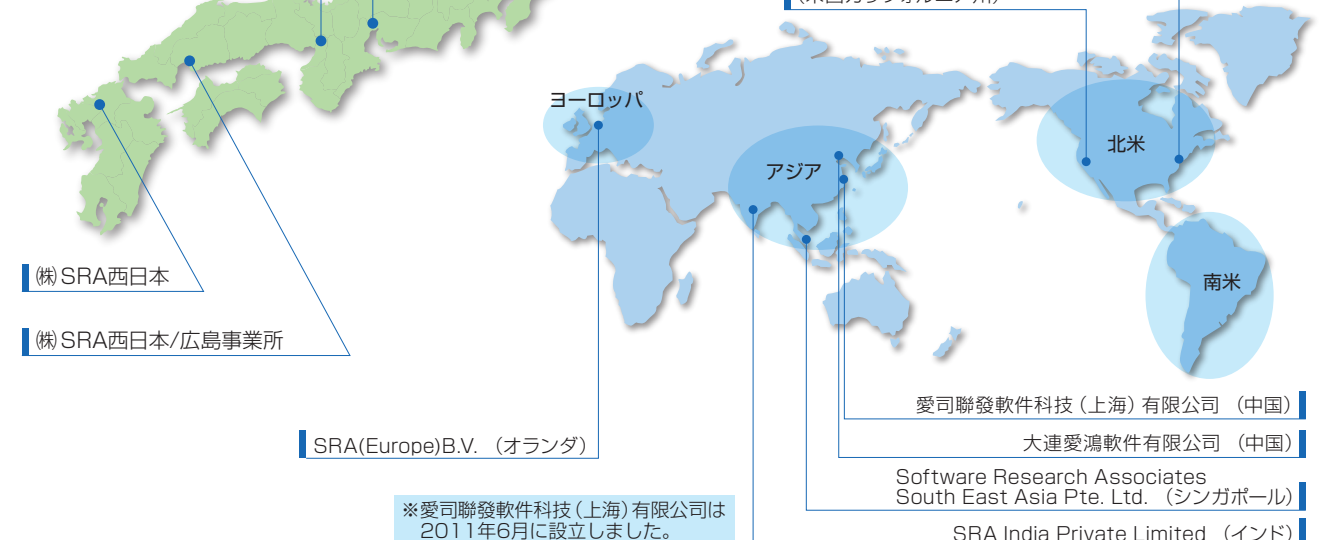
(株)SRA西日本

(株)SRA西日本/広島事業所

所在地別セグメント情報

円高の影響により邦貨では減少。現地通貨ベースでは、SRA AMERICA, INC.の減少をSRA OSS, INC.でカバーし横ばい。

所在地別セグメント	売上高			
	前第2四半期 (2010年4月1日～ 2010年9月30日)	構成比	当第2四半期 (2011年4月1日～ 2011年9月30日)	構成比
海外	1,479百万円 (16,955千ドル)	9.1%	1,355百万円 (17,066千ドル)	8.5%
日本	14,817百万円	90.9%	14,539百万円	91.5%



成長性の確保 ～ Proxim Wireless Corporation ～

成長性の確保

SRAグループは、中期経営計画の中で、「自社IP製品ビジネスの推進」と「海外ビジネスの拡大」を、成長性確保のための中長期戦略として掲げています。その戦略を推進すべく、成長分野のひとつである「ワイヤレスデータコミュニケーション」において先進的製品を有する Proxim Wireless Corporation（米国、以下「Proxim社」）と2009年に業務・資本提携をしました。

無線通信の現状

近年、携帯電話は単なる通話のための機器から、動画等の大量データを扱うデバイス（スマートフォン等）へと変化しています。そのため、通信量の爆発的な増加に通信会社の設備が追いつかず、携帯電話がつながりにくくなるような障害が発生しています。大量の通信データを流すには、電話回線に加え、無線LANも活用し、通信量の増加に対処する必要があります。

Proxim社製品の優位性

多数の機器が一斉に通信すると、互いに干渉して通信スピードが大幅に低下します。しかし、Proxim社の製品は、独自の高度な技術を駆使することで、業界トップレベル

の高速性、安定性を誇っています。また、多数の機器を集中して管理できる専用アプリケーションは、機器設定の自動化や、稼動中機器の集中監視等を可能にしています。

導入実績

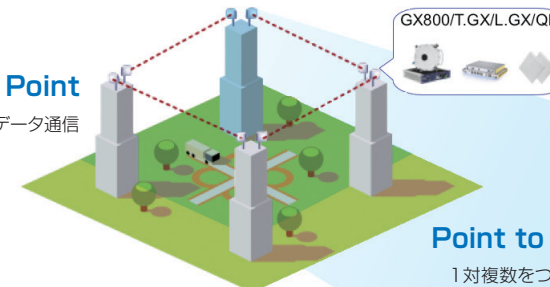
Proxim社製品は次のとおり世界各国に導入されています。

アメリカ／ニューヨーク公園監視カメラ、
ニューヨーク市営地下鉄
ロシア／MegaFon、Beeline
ブラジル／RDL Communications
アルゼンチン／Telecom Argentina
スペイン／テネリフェ島電車内ビデオ
カナダ／バンクーバーオリンピック監視カメラ 他

例えば、監視カメラシステムでは、街頭に多くの監視カメラを設置して、1箇所のセンターで管理・チェックする際に、“Point to Multipoint”を使うことで、光ファイバーの敷設が不要となり、“早く、安く、あらゆる場所に”設置することを可能にしています。

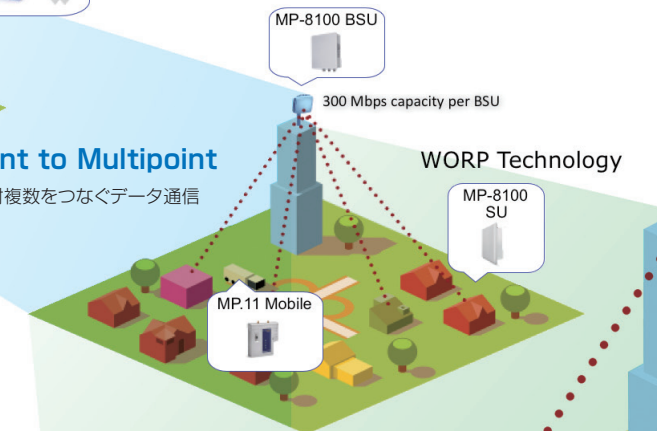
Point to Point

1対1でつなくデータ通信



Point to Multipoint

1対複数をつなくデータ通信



現在、Proxim社はSRA OSS, Inc. と協業し、北米、南米、ロシア等へのビジネスを強力に推進しています。

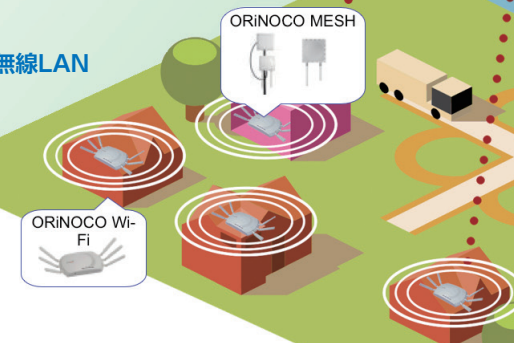
今後の展開

多くの導入実績が示すとおり、業務・資本提携締結後、Proxim社は着実に業績が向上しています。現在、世界経済を取り巻く環境は厳しいものがありますが、ワイヤレスデータコミュニケーション分野が成長分野であることは間違いありません。

SRAグループは、SRA OSS, Inc. を中心にProxim社との協業のメリットを最大限に活かし、世界各国におけるニーズを的確にとらえ、ビジネスを拡大することで成長性確保を目指します。

※自社IP製品ビジネス：知的財産権を有する、収益性（粗利益率）が極めて高い自社ブランドの製品ビジネス

無線LAN



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 2011年9月30日現在	前期末 2011年3月31日現在
資産の部		
流動資産	17,376	18,259
固定資産	8,429	8,192
有形固定資産	208	211
無形固定資産	1,086	629
投資その他の資産	7,134	7,351
資産合計	25,806	26,451
負債の部		
流動負債	6,264	6,872
固定負債	4,087	4,057
負債合計	10,352	10,929
純資産の部		
株主資本	15,606	15,552
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,483	4,483
利益剰余金	11,017	10,963
自己株式	△ 894	△ 894
その他の包括利益累計額	△ 170	△ 69
新株予約権	18	39
純資産合計	15,453	15,522
負債・純資産合計	25,806	26,451

ポイント 売上減に伴う売掛金1,044百万円の減により流動資産883百万円減。
SRAの自社IP製品投資で、無形固定資産456百万円増。

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
売上高	15,895	16,297
売上原価	13,279	13,638
売上総利益	2,615	2,658
販売費及び一般管理費	1,802	1,859
営業利益	813	799
営業外収益	118	90
営業外費用	44	34
経常利益	886	854
特別利益	170	—
特別損失	65	154
税金等調整前四半期純利益	992	700
法人税等	384	304
四半期純利益	607	396

ポイント 売上減の影響を粗利益率の向上でカバーし、売上総利益はほぼ横ばい。
販管費の抑制、営業外収益と特別利益の増加で、営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも増加。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	724	202
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,894	△ 555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 845	△ 710
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△ 73
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,008	△ 1,137
現金及び現金同等物の期首残高	9,309	10,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,301	9,187

株式の状況・会社概要 (2011年9月30日現在)

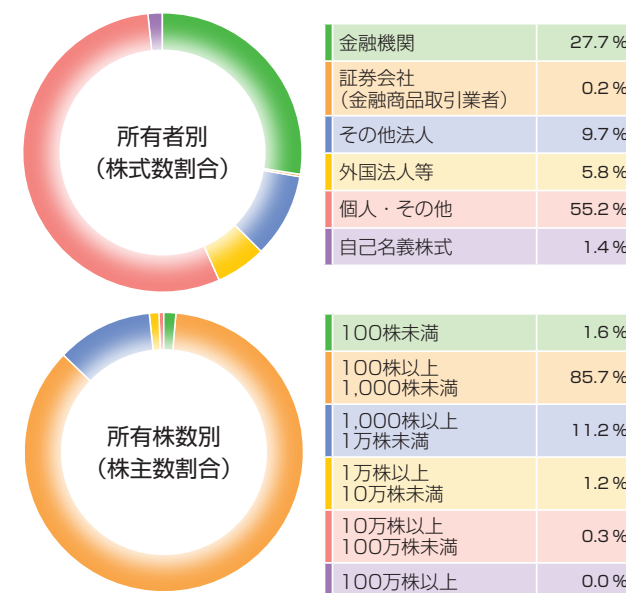
● 株式の状況

発行可能株式総数…………… 60,960,000株
発行済株式総数…………… 15,240,000株
株主数…………… 7,974名

● 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
丸森隆吾	2,189	14.3
株式会社SRA	1,190	7.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	868	5.7
SRAホールディングス社員持株会	663	4.3
第一生命保険株式会社	564	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6
野村信託銀行株式会社(投信口)	419	2.7

● 株式分布状況



● 会社概要

商号 株式会社SRAホールディングス
SRA Holdings, Inc.
本店所在地 東京都豊島区南池袋二丁目32番8号
設立年月日 1991年1月28日
資本金 10億円
主要な事業内容 システムの開発事業、運用・構築事業
および販売事業を営む事業会社の統括管理
従業員数 1,658名

● 役員

代表取締役社長 鹿島 亨
常務取締役 富田 博
取締役 金崎 俊明
常勤監査役 室伏 仁
監査役 櫻井 通晴
監査役 竹谷 智行
会計監査人 太陽ASG有限責任監査法人

お知らせ

株主通信を最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。次回の第3四半期株主通信の発行は2012年2月下旬～3月上旬を予定しております。
企業価値向上のため、中期経営計画の達成を目指し業務を遂行してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

SRAホールディングス